

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和6年(2024年)3月25日

提出区分	実績	整理番号	7	課題区分	C
横断的な課題	人口減少下にあってもデジタル技術や地域の強みを生かした地域づくりの推進				
地域重点政策	人口減少下にあっても「デジタル技術や地域の強みを生かし今後も活躍する長野地域」をつくる				
実施機関	長野地域振興局			担当課	商工観光課
事業名	長野地域産業DX推進事業			電話	026-234-9528
				E-mail	nagachi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業概要	目的 (目指す姿)	IT関連事業者が集積している長野地域の強みを生かし、生産性向上やビジネスモデルの変革等を図るため、DXの取り組みの裾野を広げる。			
	現状と課題	(1)長野地域産業の労働生産性(従業員1人あたり付加価値額)は、全国に比べ低い状況(全国5.4百万円、当地域4.7百万円(H28経済センサス活動調査))であり、今後の人口減少環境下をふまえた生産性の向上やビジネスモデルの変革(稼ぐ力の強化)が必要。 (2)AIやIoT等のデジタル技術の進歩により、DXに資する各種ITツールが急速に進化。 (3)特に中小企業は、DXの定義、DXの進め方、DXに資するITツール等の情報や理解が不足。			
	内容 (変更後の内容)	令和5年度は以下の事業を実施した 1 キックオフセミナーの開催(集合及びオンライン形式) 26名参加 (1)日時 令和5年7月28日(金)13:30~16:00 (2)場所 JA長野県ビル12D会議室(長野市大字南長野北石堂町1177-3) (3)基調講演 テーマ:どうする!? 中小企業のDX 講師(独)情報処理推進機構 五味弘氏、横山尚人氏 (4)主な支援策の紹介(マッチング、技術、人材育成・確保の支援等) (公財)長野県産業振興機構、県工業技術総合センター (5)その他 ・地域振興局事業による支援事業(伴走型支援)の参加募集案内 ・個別相談会 2 事業者のDX化に向けた専門家派遣による支援(令和5年10月~令和6年2月 管内企業5者を支援) (1)支援対象事業者の募集(上記キックオフセミナーでの募集案内、産業支援機関等を通じた周知) (2)支援事業の実施(対象事業者へDX専門家を派遣する伴走型支援を実施することにより、DXの推進を図った)対象の5者へ、延べ23回の専門家派遣を実施			
	事業期間	令和5年6月 ~ 令和6年3月			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考	
	キックオフセミナー事業	講師謝金、旅費、会場賃借、web放映機材	100,450	謝金(30,000円)、旅費(37,560円)、使用料(27,610円)、需用費(5,280円)	
	伴走型支援	事業者の課題に応じた、課題解決のための専門家の招へい	379,500	専門家派遣謝金(1回15,000円×1.1×23回=379,500円)	
	合計		479,950		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	支援事業者数		5者	5者	<input type="radio"/> 達成
	セミナー参加者数		30名	25名	<input checked="" type="radio"/> 一部達成
					<input type="radio"/> 未達成

事業実績・成果	<p>様々な業種、分野において「DX化の推進」が叫ばれており、企業等へのアンケート結果においても半数以上がその必要性を感じている。しかし、専門家派遣事業におけるヒアリング等を通じて感じた実態は、精密・精巧な製品をプロダクトしている先でも、DX化はほとんど進んでいない状況が現実に少なくない。</p> <p>例を挙げるとFAXによる発注業務、高額で導入したシステムの持ち腐れ、DX人材の不在など課題は多岐に亘っている。</p> <p>今回の支援ではそのような課題を認識しつつもこれまで有効的な対策を打つことが出来なかった企業にとって、DX化を進めるための第一歩として非常に有効な支援であったと感じており、支援企業からの報告書においてもそのような回答が多い。本事業の実績として、支援企業でのきっかけ作りや類似の課題を有する事業者へ提供できる知見を蓄積できたことなどが挙げられる。</p> <p>DX化の取り組みは何か一つを実行すれば終了ではなく継続的に行う必要がある。また、今回の知見を活かしこれから始めたい先を掘り起こしDX化の支援を継続していく。</p>
今後の方向性	<p>今年度に引き続きセミナーの開催、支援事例の紹介、DX専門家派遣等による支援を実施しDX化の裾野を拡げる。</p>